

高校生の教室は世界

日本を飛び出し、世界を旅して学ぶ高校生に。学校法人光星学院(八戸市)の子会社八戸学院グループ(大谷真樹代表取締役社長)は、新たな枠組みのインターナショナルスクール「インフィニティ国際学院」を来年4月に開校する。各国でのフィールドワークなどを通じて生徒に見聞を広め

まずは比拠点

てもらい、世界の難関大学に進学する人材の育成を目指す。

学院長の大谷社長は14日、取材に対し「日本の教育は世界の変化から遅れている。視野を世界に向け、変化を起こせる人材をつくるべく」と開校の意図を語った。

同学院は学校教育法上の

八戸学院グループが新校

学校ではないが、広域通信制高校と提携し、日本の高校卒業資格を取得できる。3年の教育課程で費用は800万円ほどを見込む。校舎はなく、1年目でフィリピンの同社関連語学学校を拠点に英語を学び、2年目は、各分野の専門家の支援を受けて4カ国程度でのフィールドワークやイン

難関大進学を

ターンシップなどを体験する。3年目は希望する進路の実現に向け、英語や中国語の能力強化などを図る。

募集は40人程度で今年11月に始める予定。原則中学を卒業・卒業見込みの人が対象。英語、日本語能力に条件があり、書類選考と面談で可否を決める。

(新村菜穂)